

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科 334 理科 434 理科 534 理科 634	みらいをひらく 小学理科3 未来をひらく 小学理科4 未来をひらく 小学理科5 未来をひらく 小学理科6
取扱内容  各教科、各学年の学習指導要領の総則及び目標、内容等	<p><b>物質・エネルギー</b> 第3学年では、粘土の形を変える前と変えた後の重さを調べる実験、ゴムで動く車を作るものづくり、第4学年では、熱せられた水の動き方を調べる実験、乾電池や光電池の性質を利用したおもちゃづくり、第5学年では、食塩やミョウバンが水に溶ける量を調べる実験、電磁石を利用した電気チェッカー等の道具を作るものづくり、第6学年では、ろうそくの燃焼前後の空気の違いを調べる実験、乾電池等をおもりにしたさおばかりを作るものづくりなどの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p><b>生命・地球</b> 第3学年では、ホウセンカの栽培、日なたと日陰の地面の温度の違いを調べる観察、第4学年では、腕の筋肉の様子を調べる観察、半月の動きの観察、第5学年では、ヘチマ等の花のつくりの観察、メダカの飼育、流れる水の量と地面の変化との関係性を調べる実験、第6学年では、呼気と吸気の違いを調べる実験、月と太陽の位置や月の形を調べる観察などの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p><b>知識・技能の習得、活用、探究への対応</b> 第3学年では、「遮光板」や「携帯型双眼実体顕微鏡」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び風の力を利用して電気をつくる風力発電を理解するなどの発展的な学習、第4学年では、「星座早見」や「実験用ガスコンロ」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及びフライパンのとなりが熱くならない工夫を理解するなどの発展的な学習、第5学年では、「解剖顕微鏡」や「メスシリンダー」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び水害を防ぐために行う河川工事の工夫を理解するなどの発展的な学習、第6学年では、「気体検知管」や「電源装置」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び肺や肝臓、腎臓等の臓器のつくりや働きを理解するなどの発展的な学習が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p><b>内容の構成・排列</b> 第3学年の「チョウを育てよう」では、チョウを飼育し、育ち方の過程をとらえられるように、第4学年の「季節と生き物」では、サクラを観察し、季節と生き物についての学習を進められるように、第5学年の「もののとけ方」では、見いだした問題を計画的に調べ、物が水に溶ける現象への理解を深められるように、第6学年の「月と太陽」では、月の満ち欠けの原因について、推論しながら調べられるように単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p><b>内容の分量</b> 第3学年では、物質・エネルギーは68ページ、地球・生命は92ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は180ページで、前回より19パーセント増となっている。 第4学年では、物質・エネルギーは72ページ、地球・生命は112ページ、資料等は24ページであり、総ページ数は208ページで、前回より10パーセント増となっている。 第5学年では、物質・エネルギーは58ページ、地球・生命は118ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は196ページで、前回より15パーセント増となっている。 第6学年では、物質・エネルギーは74ページ、地球・生命は112ページ、資料等は22ページであり、総ページ数は208ページで、前回より11パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>コラム「科学のまど」では、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）川に鮭の稚魚を放流する小学校の写真を掲載したり（第5学年）するなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>特集ページの「わたしの研究」では、研究の進め方などを示し（全学年）「学習の順序」では、思考や学び方の流れを示す（全学年）など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>一年間で学んだことを確認できる「この1年間で学んだこと」を設ける（全学年）とともに、安全に対して配慮が必要な箇所に「注意」マークを付ける（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>北海道と関連のある教材は、「津波からの防波堤」など、44箇所取り上げられている。</p> <p>エネルギー・環境に関する内容等の教材は、「知床の生物」など、17箇所取り上げられている。</p>			

